

【事務事業評価調査】

政策名:2-2:高齢者福祉・介護の支援(政策直付け)

事務事業名	高齢者総合保健福祉計画策定事業費		予算科目コード	会計-款-項-目-事業
担当部署	健康福祉課	担当 サブリーダー	社会福祉担当 吉葉恵子	事業の分類 新規事業

事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	介護保険事業計画は介護保険法第117条により策定が義務付けられている法定計画で、介護保険事業にかかると地域支援事業や新予防給付、介護給付の円滑な実施を実現するための計画になっている。現計画は平成18年度から20年度までのものなので、平成20年度中に見直しを行い、平成21年度から23年度までの計画を策定する。	3年毎に見直しをすることで、介護保険事業の推移を見極める。今後の保険料や各種サービスの目標値等を定めることにより、計画的に安定的な介護事業が運営できるように高齢者施策の総合的な推進が図れる。
実績	平成21年度から23年度の3年間にわたる高齢者施策と介護保険事業計画を策定しました。町の高齢者福祉施策を総合的に推進するための指針となる計画であり、高齢者施策にあつては、高齢者を取り巻く現状の把握のため、近年の推移を比較するとともに、高齢者自身へのアンケート調査も実施しました。介護保険事業計画では、過去のデータから人口推移や介護給付費の伸び等を推計し、より充実した介護保険制度の確立に向けた目標について検討をしました。	高齢者福祉の現状を振り返ることで、求められている事業や体制作り等の方向性が見えてきました。それらの実現に向けた重点目標の設定ができました。介護保険事業計画では、過年度の実績や今後の推移見込の見直しをし、より実態に即した給付計画、保険料設定等に繋げることができました。

活動指標

指標	目標値	達成値	指標選択理由	特記事項
介護保険事業計画書作成状況	100%	100%		第4期介護保険事業計画書が作成できた。

事業費(計画)

細 節	金 額
1 報償金	352,000
2 消耗品費	20,000
3 印刷製本費	199,500
4 委託料	1,000,000
5	
6	
7	
8	
	1,571,500

事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 報償金	352,000
2 印刷製本費	100,000
3 通信運搬費	145,000
4 委託料	1,000,000
5	
6	
7	
8	
	1,597,000

事業費(実績)

細 節	金 額	特 記 事 項
1 報償金	231,000	計画策定委員報酬 16名 3回開催 5,500円×延べ42回
2 印刷製本費	45,150	計画書印刷製本 84p 120冊
3 通信運搬費	142,820	アンケート調査用
4 委託料	756,000	計画策定業務委託料
5		
6		
7		
8		
	1,174,970	

事業経費

		計 画	実 績	特 記 事 項
予 算	当初予算額		1,597,000	
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額		1,597,000	
決 算	決算額		1,174,970	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0	0	
	差引(一般財源)	1,571,500	1,174,970	